

会社は社員の声を聞け！

働きやすい職場環境、労働条件改善をもとめ

「申2号」「申3号」を会社に提出

名古屋地本は、2016年3月ダイ改後発生している様々な問題の解決や、秋の職場環境改善を求め、9月2日東海鉄事に「申2号」「申3号」を提出しました。

各職場に共通する項目を中心に、各職場毎の問題点も提出しました。

これまで、「その様な考えはない」「現行どおりとする」など交渉において無責任な回答を繰り返す会社に、職場の声をぶつけてきました。現場で苦勞している社員が少しでも働き安くなるため名古屋地本は奮闘します。

基本要 求

申2号 2016年ダイ改に伴う改善要 求

1. 勤務空けの終了は午前中とすること
2. 睡眠時間に対する労外時間を6時間以上確保
3. 拘束時間は24時間以内
4. 泊行路の出勤時間は10時以降とすること
5. 名古屋駅から名古屋車両区への徒歩時間が少ないので徒歩時間を10分増やすこと
6. 列車の折り返し時間を列車種別編成両数別に明確にすること、また長時間乗務時は折り返しトイレ時間を考慮する基準を設けること
7. 2時間以上の待ち時間がある訓練はやめること
8. 訓練時間は2時間以内とすること
9. 規程の訂正は訓練時行う。出来ない場合超勤とすること
10. 飯田線伊那地区、昼間の列車本数を拡大する

申3号 2016年秋職場環境改善要 求

1. ATS 要注意駅の地上子を増設すること
2. 両数標の簡素化と線区に即した標準化をすること
3. 長期日勤教育をやめること
4. 年休の抑制につながる各種イベントはやめること
5. 乗務カバンに入りきらない貸与品は廃止すること
6. 人権無視のパワハラ点呼はやめること
7. 早発事故防止のため時計をデジタルにすること
8. IC カードを全エリア使用可能にすること
9. 313系車両、運転席クッション薄いものがあるので取り替えること
10. 休養室に CPAP が使いやすい台をおくこと